

クリエイティブコモンズとは、CCライセンスによる作品の流通を図るための活動全般と、活動する団体を指す（活動母体はアメリカの非営利団体）。各国の著作権法に則った活動が行われており、日本は、クリエイティブコモンズジャパンが日本の著作権法に準拠した規定を設けている。

CCライセンスには、基本の4要素、「BY（表示）」「NY（非営利）」「ND（改変禁止）」「SA（継承）」の組み合わせ（実質6種類）と、パブリックドメインに関する「CC0」「PD」の2要素（種類）がある。

「CC0」とは、作品に付与される著作権をすべて放棄し、実質パブリックドメインにするという意味を示し、「PD」は、著作権が消滅した作品を指す。

資料データなどコンテンツについて、CC0での提供ができれば、利用者の幅広い活用が期待できる。ただし、作品に付与される著作権をすべて放棄するCC0をデジタルアーカイブに適用する場合、例えば、ある写真の被写体である人物、美術作品、企業のロゴ、有名な建築物や商業施設などに関わる肖像権や商標権、施設管理権など、さまざまな権利まで放棄されているとは限らないため、CC0での作品提供の際、被写体に、他の権利が関係する場合は、他の権利に対しても許諾処理等を行うことが望ましい。

(3) 岐阜女子大学デジタルアーカイブメタデータ

岐阜女子大学では、利用条件表示（CCライセンス）に配慮したデジタルアーカイブのメタデータ構成を検討している。

■岐阜女子大学デジタルアーカイブメタデータ

I 資料ID情報 [他機関などとの標準化への対応として検討]

1. 団体・組織名
団体や組織を示すコードを設定する。
2. データベース名
別表で各データベースを管理し、それぞれにコードを設定する。
3. ID
各資料の番号を連番で設定する。

II 資料利用情報

1. 表題（別途英語名）
資料の表題を表す名称を記録する。
2. 資料名（別途英語名）
一般に個別の資料名を記録する。
3. 作成者（オーラルヒストリーの話者、木工の製作者等も含め、広くとらえる）
作者だけでなく、オーラルヒストリーの話者や木工の製作者等、作成に関わったものも記載。
4. 内容分類（文字）

パブリック・ドメイン・ツール

CC0			著作権法上認められる、その者が持つすべての権利（その作品に関する権利や隣接する権利を含む。）を法令上認められる最大限の範囲で放棄して、パブリック・ドメインに提供することを意味する。
パブリック・ドメイン・マーク			著作権による制限がなく、自由に利用可能であることを意味する。

クリエイティブコモンズライセンス

表示		作品のクレジットを表示すること	非営利		営利目的での利用をしないこと
改変禁止		元の作品を改変しないこと	継承		元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開すること
CC BY (表示)		原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示することを主な条件とし、改変はもちろん、営利目的での二次利用も許可される最も自由度の高いCCライセンス。			
CC BY-SA (表示-継承)		原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、改変した場合には元の作品と同じCCライセンス（このライセンス）で公開することを主な条件に、営利目的での二次利用も許可されるCCライセンス。			
CC BY-ND (表示-改変禁止)		原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ元の作品を改変しないことを主な条件に、営利目的での利用（転載、コピー、共有）が行えるCCライセンス。			
CC BY-NC (表示-非営利)		原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ非営利目的であることを主な条件に、改変したり再配布したりすることができるCCライセンス。			
CC BY-NC-SA (表示-非営利-継承)		原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ非営利目的に限り、また改変を行った際には元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開することを主な条件に、改変したり再配布したりすることができるCCライセンス。			
CC BY-NC-ND (表示-非営利-改変禁止)		原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ非営利目的であり、そして元の作品を改変しないことを主な条件に、作品を自由に再配布できるCCライセンス。			

クリエイティブ・コモンズ・ジャパン web サイト¹をもとに作成



各資料の内容分類（カテゴリー）を記録する。（分野ごとに内容分類表の作成が必要）

5. 分類コード（数値）

図書、学習指導要領など、コード化が可能な資料体系の場合は、該当する分類コードを記録する。

6. 対象時代・年

資料を利用する上で最も有効な時代区分、年、を記録。（主として、年で記録するが、資料の利用上の必要性によって昭和・平成などの年号や平安・江戸時代などの時代区分、地学、文化的な区分を記録する）

7. 地域・場所

資料の存在する場所の県・市町村（〇〇地方など）、歴史・自然など地域区分の記録。対象の地名・住所などの文字表記が必要。別途、必要に応じて、緯度・経度や総務省メッシュコード等による地理情報の記録を行う。

8. 索引語（キーワード）

各資料について索引語を5 ± 2語程度で記録する。

9. 内容記述（資料の説明）

資料の説明を記録する。300字程度で内容のサマリー、SN（スコープ・ノート）としての性格をもつ。

10. 提示種類

印刷メディアやウェブ提供中の通信メディア等、オリジナルデータのメディア形態。ファイルの拡張子に相当するものと共に記録する。

11. 関連資料

デジタルアーカイブには、複数のデータが集合し、保存され、利用に供されているものも多い（集合保存など）。他の資料との関連や一連の資料の中の一つといった情報を記録する。

12. 利用分野（利用条件） *クリエイティブコモンズとも関連する項目

資料がどのような分野で利用できるかを必要に応じて記録する。また、利用制限の必要なときはその条件も記録する。

13. 所蔵場所

資料の所蔵されている場所、地域、施設など、資料調査を可能にする情報を記録する。

14. ファクトデータ（デジタルアーカイブであれば、資料全文のPDF、CSV等データ）

資料（たとえば文献や記事など）の全文、写真や図面などの加工していない元情報など、各種の統計、実験・観測データなどの記録。リンクドデータとして処理する。

III 資料管理情報

1. 著作権（全体・部品）／所有権

○著作権、CCライセンス

全体・部品にかかわる著作権を有する組織、個人を記録する。CCライセンスの表示を基本とする。

○所有権

所有権を有する組織、個人を記録する。デジタルデータの場合、デジタル化を行った組織、人（個人）が著作権を有しているが、対象が別所有者であれば所蔵先の記載、デジタルデータの複製であれば著作権複製権処理済の明示が必要。

2. プライバシー

公開や二次利用に必要な、肖像権やプライバシー個人情報保護について記録する。

3. 選定評価（知的財産権その他に該当）

資料対象者、保有者の慣習・権利・利益や保管の安全上の課題（国内外の政治・社会的状況）等が生じる場合、記録する。

4. 登録日・登録者（更新日・更新者）

資料を登録した日付と登録者名を記録する。

5. 知的処理／サイクル数

デジタルアーカイブのための「知の増殖型サイクル」を循環させる際にどのような知的処理を行ったかを文章、図などで記録する。また、サイクルを循環させた数が明らかな場合、サイクル数を数値で記録する。

6. 選定資料（基礎資料）

整理した基礎資料について記録する。

7. 活用資料

現在、活用している資料について記録する。

8. 評価資料

活用結果を含む評価関連の資料について記録する。

9. 創造資料（新規資料）

6～8の資料によって新たに作成された資料（成果物など）について記録する。

*5～9は、デジタルアーカイブのための「知の増殖型サイクル」に従い記録する。

(4) 内容分類

内容分類の項目は、記録した資料の内容が地域の人以外でも調べられるようにする。登録する資料によって過不足などが生じる分野に関しては、独自の分類基準を設ける必要がある。

岐阜女子大学では、地域文化資料用に以下のようなカテゴリーを開発し、これを用いている。

0 伝統文化	1 郷土・歴史	2 観光・交通	3 産業・経済	4 自然・景観
5 動植物	6 教育・福祉	7 美術・工芸	8 施設・建築物	

カテゴリにもとづく地域文化資料検索用のカテゴリとキーワード

カテゴリ	キーワード(索引語)
0 伝統文化	<p>文楽 能 歌舞伎 伝承 祭り 踊り 太鼓 神楽 茶花 道 碑 和紙 工芸 無形(有形)文化財 俳諧 管絃 鍛冶 陶芸 竹木芸 家屋 民間信仰 民俗行事 伝統技術 葬式 誕生 墓 神木 民俗用具 芝居 祭事 保存活動 地歌舞伎 水墨</p> <p>狂言 舞 人形 伝統 伝説 農村舞台 鎌倉 踊り 掛踊 太鼓踊り 芸能 民具 染色 漆木 竹木 金工 神木 装束 伝承 山車 民謡 神輿 刀匠 名人 陶磁器 講 いろいろ 衣類 はきもの類 あそび かがり火 石仏 会食 占い 雨乞 獅子舞 盆踊 巡礼 供物 音頭 童うた 衣服</p>
1 郷土・歴史	<p>手紙 公文書 私文書 政治 記録 輪中 料理 伝統 工芸 年中行事 寺社 神事 仏事 古文書 古地図 史跡 城 民話 国宝 古典 歴史資料 重文 武器 資料保存 民間行事 水路 刀匠 用水 城</p> <p>織部焼 志野焼 円空仏 名物 郷土料理 名刹 窯跡 遺跡 花火 民俗資料 文化財 古墳 池 教会 記念施設 家屋 旧役所 田跡 神仏像 堀 伽藍 道標 梵鐘 宝物 神酒 庫裏 祝詞 占い 年貢 信仰 筏 運河 運搬 歌 円空 寛</p>
2 観光・交通	<p>観光道路 観光 名所 公園 鶴飼 土産 城 駅 料理 特産品 スキー 遊歩道 娯楽 展示物</p> <p>鉄道 道 川 街道 温泉 川港 鶴匠 玩具 城郭 橋 観光案内 イベント 花園 葺民芸品 科学施設 博物館 石造物 宿泊 道の駅 湧水 名水 名物 郷土料理 商店街 遊園施設 神社仏閣 やな バス 文化施設 名産品 菓子 駅 酒 展望台 資料館 観光施設 川港 老舗</p>
3 産業・経済	<p>伝統産業 新聞・放送 建築 土木 出荷 伝統農業 工業 商業 鉱業 水産業 サービス業 畜産 燃料 衣食住 林業 木工製品 運送 技術 機械 加工 輸出入 食品 事業</p> <p>和傘 美濃和紙 鍛冶 職人 農具 用排水 綿 絹 毛・織物 行商家 町並 水屋 商家 農家 工場 廃棄物 産業 賞 先端科学施設 団地 薬業 薪 ガス 電気 炊事 農業施設(組合) 炭 郵便 田畑 木竹わら 道具 共同作業 産業施設 米 出版 野菜 麦 山菜</p>
4 自然・景観	<p>景色 夜景 風情 滝 治水 源流 山(脈) 名山 池 水 川 名勝 岩石 湖沼 山 治山 峠 雪谷 水 冬 夏 秋 春 雨 登山 渓谷 砂防 地震</p> <p>高山植物 天然記念物 原生林 高原 河原 植林 並木 湖 石垣 分水嶺 河岸段丘 台風 環境保全 洪水 里山 登山 温泉 伏流水 岩石 棚田 薬草 台地 遊ぶ 自然公園 断層 名勝池</p>

5 動植物	<p>魚 植物 森林 昆虫 猛禽 家畜 草花 外来種 国内種 大樹 薬化石</p> <p>湿原 森林 川魚 養殖 絶滅動植物 名木 蜜 牛 馬 鮎 鯉 蝶 野鳥 木曾五木 花 雑草 盆栽 香料 薬草 落葉 針葉 常緑 漢方薬 野菜 果実 種苗</p>
6 教育・福祉	<p>NPO 学校 福祉施設 医療施設 介護施設 文化施設 情報施設 公共サービス スポーツ施設 育児 友好 国際交流 キャンプ 結 ボランティア 野外活動</p> <p>保育所 幼稚園 小学校 中学校 高等学校 大学 保存会 体験活動 警察消防 老人ホーム 厚生施設 薬業 介護施設 育児施設 文化施設 生涯学習施設 養護施設 更正施設 病気 病院 スポーツ活動 歴史民俗施設 文化活動 啓発活動 学習 劇場 社会体験 奉仕 公民館 スローガン 役所</p>
7 美術・工芸	<p>絵画 工芸品 美術品 芸術教育 賞 音楽 写真 メディア イベント 施設 デザイン</p> <p>織部賞 円空仏 県市町村指定工芸品 美術館 窯跡 写真 染色 音楽施設 展示施設 画家 書家 工芸家 ポスター 映画</p>
8 施設・建造物	<p>公共施設 ダム 建築物 科学施設 有形文化財 橋</p> <p>水資源 合掌造 水屋 舞台 指定民家 情報施設 発電所 トンネル 屋根 飛行場 木造 瓦葺 旧家 駅 劇場</p>

(5) 自然語と統制語

資料検索のために、索引語(キーワード)が必要となる。

■自然語

日常的な用語で、非統制語ともされる。1つの概念でも複数の用語が使用されたり、同じ用語が他の概念に使用されたりすることから、同義語や表記のゆれ、同形異義語が発生する。

■統制語

同義語、広義語、狭義語、関連語など、意味や使い方が統制された用語。統制語の主な目的は同義語、表記のゆれ、同形異義語などの発生により、正しい検索結果が得られないという事態を避けることである。統制語をまとめたものがシソーラスである。

(6) シソーラス

デジタルアーカイブのメタデータにおいて、複数の記述方法が存在しては、利用者の検索結果に影響を及ぼすことにつながる。そこで、各分野で用語の共通化(シソーラス)が必要となる。

シソーラスとは、用語と用語の関係をわかりやすく体系的(階層的)にまとめたもので、同義語や広義語等によって分類された辞典や索引語集のような役割を担うものである。ときには用語の概念や意味などの説明も記されている。

[執筆者一覧] (執筆順)

後藤 忠彦 (岐阜女子大学)	1.1, 1.2, 3.1, 3.2, 3.3, 7.2, 8.3, 10, 11
井上 透 (岐阜女子大学)	1.1
谷 里佐 (岐阜女子大学)	1.2, 4.4, 6.1, 10, 11
加藤真由美 (岐阜女子大学)	1.3, 2.2, 3.4, 8.2, 11
林 知代 (岐阜女子大学)	2.1
遠藤 宣子 (岐阜女子大学)	3.3, 10.9
加治工尚子 (岐阜女子大学)	3.4, 4.1, 5.1, 7.1
又吉 斎 (沖縄女子短期大学)	4.2
三宅 茜巳 (岐阜女子大学)	4.3
新垣 さき (沖縄女子短期大学)	4.5
眞喜志悦子 (岐阜女子大学)	5.1, 7.1, 8.3
大木佐智子 (岐阜女子大学)	6.1
久世 均 (岐阜女子大学)	8.1
佐藤 正明 (岐阜女子大学)	9

地域文化とデジタルアーカイブ

2017年11月6日 初版第1刷発行

編者 © 岐阜女子大学デジタル
アーカイブ研究所
〈検印省略〉 発行者 大塚 栄一
発行所 株式会社 樹村房
JUSONBO
〒112-0002
東京都文京区小石川5-11-7
電話 03-3868-7321
FAX 03-6801-5202
振替 00190-3-93169
<http://www.jusonbo.co.jp/>
印刷・製本 亜細亜印刷株式会社

ISBN978-4-88367-288-2 乱丁・落丁本は小社にてお取り替えいたします。